



【安全レストラン選択宣言】

私たちは完全禁煙の飲食店のみを利用します。

- (1) 分煙のレストランでは、受動喫煙が防げません。
- (2) 分煙のレストランは致死的な病気の危険があります。
- (3) 分煙のレストランの従業員も、がん、脳卒中、心筋梗塞などの受動喫煙疾患で死亡するリスクが高まります。
- (4) 分煙のレストランでは、料理の味が損なわれます。
- (5) タバコ規制枠組み条約 (FCTC) を遵守している国々では、すでに飲食店での喫煙は違法です。

<http://www.who.int/tobacco/framework/download/en/index.html>

きれいな空気を吸う権利は、基本的人権です。

FCTCは、「到達しうる最高水準の健康を享受することは、人種、宗教、政治信条、経済的または社会的状況の違いに関わらず、すべての人間の基本的権利のひとつである」というWHO世界保健機関の前文が背景となった国際法で、日本もこの条約を批准しています。

FCTCは、「タバコの消費と、タバコの煙への暴露が健康、経済及び環境に及ぼす全世界にわたる破壊的な結果についての国際社会の懸念を反映し、タバコ需要を減らす有効な包括的な仕組み」として2005年2月27日に発効しました。

**タバコは嗜好品ではありません。依存性薬物です。
たばこ事業法を撤廃し、タバコ規制法を作りましょう。**